

会社名 ランデス株式会社
代表者名 代表取締役 大月 隆行
問合せ先 取締役管理本部本部長
兼 サステナビリティ推進室副室長
川畑 嘉広
電話番号 0867-52-1141

ランデスグループの温室効果ガス排出削減目標が SBT イニシアチブによる認定を取得

ランデス株式会社は、当グループが掲げる温室効果ガス排出削減目標（下表参照）を「SBT イニシアチブ（Science Based Targets initiative）※1」に提出し、パリ協定に準じた世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて 1.5℃に抑えるための科学的根拠に基づく目標であるとして、2023年5月18日に「中小企業向け SBT（科学的根拠に基づく目標）」の認定を取得しました。

■ランデスグループの温室効果ガス排出削減目標

対象項目		削減目標
Scope1	事業者自らによる温室効果ガスの直接排出	2030年までに2021年比 42%削減（1.5℃目標）
Scope2	他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出	
Scope3	Scope1・2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）	排出量の算定と削減

当社は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて取り組み、中でも気候変動対策となる脱炭素社会の実現を重要課題の一つと位置付けています。

脱炭素の取り組みを合理的かつ実効性のある計画にするため、国際的な目標と整合するよう、SBT認定を取得しました。既に温室効果ガス排出削減に向けて、重油ボイラーの更新やLED照明等の導入、及び低炭素型プレキャストコンクリート製品の製造を行ってきましたが、この度、SBT認定を受け、全社的な活動をより加速させ、継続して取り組むことで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1：国際グローバル・コンパクト（UNGC）・カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（CDP）・世界資源研究所（WRI）・世界自然保護基金（WWF）の4つの機関による共同イニシアチブ。「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」というパリ協定の目標達成に向けて、企業に対し、科学的知見と整合した削減目標を設定することを推進

以上